

谷相新聞

発行
中央東農業振興センター
0887-53-3039

紙面

「またきいや谷相へ！」を開催
「先進地研修」を開催
「谷相オペレーター組合」を開催
「直販部会」を開催

この新聞は、中央東農業振興センターが、谷相集落で行った活動を、地域の皆様に紹介するために作成したものです。

みんなで創る谷相地区

中央東農業振興センターでは、香美市、土佐香美農協と連携し、谷相地区をモデル集落として、集落営農活動への支援を行っています。

これまでの集落座談会やアンケートで、「農地を守っていくためには、まず『米』から話し合おう」との合意を得て、平成二十一年二月に「谷相地区集落営農組合」が設立され、「エコファーマー」「農作業受委託組織の設立」「所得向上に向けたアジサイ栽培や直販活動」に加え、新たに「青ネギ栽培」「交流」の取り組みが始まりました。

またきいや谷相へ！（交流会開催）

十一月八日に三谷地区集会所において、「またきいや谷相へ！」を開催しました。当日は高知市や南国市から、親子二十三名の参加があり、散策、おにぎりづくり、稲わらリースづくり、もち投げを行い、お米や谷相のよさを堪能していただきました。

参加者からは、「散策では、山道を2km近く歩く間にドングリや、栗を拾ったり、田舎の風景をみてリフレッシュできた。お米もおいしい」とお米を購入していく人も多数ありました。稲わらリースづくりも好評で農家と市、農業振興センターが一緒に考えた交流内容に満足していただくことができました。



参加者集合写真



おにぎりづくり



散策風景



稲わらリースづくり

「上東集落」先進地研修を実施！

十一月十一日に、こうち型集落営農モデル集落である「上東地区集落営農組合（いの町）」において、農舎等の設置状況や組合の取り組みについて研修を行いました。上東集落は、平成二十年度から「こうち型集落営農」に取り組んでおり、参加者からは、農舎を建築する際の地元負担分の拠出方法やニラ、葉ワサビ等所得向上の取り組み、水稻の農作業受委託の状況などを聞き、熱心に研修が行われました。



上東集落研修



アグリ天神研修

「アグリ天神」等先進地研修を開催！

十二月七日に、谷相集落の十九名が、「特定農業団体アグリ天神（香川県高松市）」「良心市たかせ（香川県三豊市）」において、集落営農や直販所の取り組みについて研修を行いました。「アグリ天神」は、平成二年のほ場整備をきっかけに集落営農について話し合いを始め、平成十八年に特定農業団体「アグリ天神」として設立した組織で水稻、麦、野菜を栽培

培しています。

参加者からは、「谷相集落も天神集落と同様に高齢化も進んでいるので、集落を維持して行くにはみんなで知恵を出して取り組む必要がある」との声がありました。

「良心市たかせ」は、平成四年に生産者十二名で立ち上げ、出荷者数は約四百人で年間約三億円の売り上げがある直販所です。

参加者からは、「直販所に出荷するときは、袋いっぱいに入れることがよいことであると思っていたが、適量が大切であるとわかった」「品揃えがよいのでお客さんもたくさんきています」などの声がありました。

奈半利町大原西ノ平集落等との交流会を実施！

十二月八日に、「こうち型集落営農」に取り組んでいる奈半利町大原西ノ平集落、北川村久府付集落との交流会を開催しました。

交流会ではお互いの集落の取り組み状況や意見交換を行いました。谷相集落参加者からは、「集落営農に取り組んで間もないので結果も出ていないがみんなで集まって話し合うことは大切である」との意見がありました。



奈半利町大原西ノ平集落との交流会



谷相オペレーター組合

谷相オペレーター組合及び水稲栽培

研究会を開催！

十二月十五日、三月二日に、「谷相オペレーター組合及び水稲栽培研究会」を開催しました。

十二月十五日の検討会では、水稲の展示ほの成績結果報告や農作業受委託の作業料金、来年度の事業導入について検討を行いました。

また、米の産地は知らせず米の食味比較を行いました。熱心に食べ比べ、おかわりをしながらチェックする人もいました。

三月二日には、エコファーマーの取り組み等の検討を行いました。

エコファーマーの新しい取り組みとして、三名が微生物農薬による種子消毒を実施することや四月に事業申請を行い、農舎及び乾燥機を導入することが決まりました。

直販部会の開催！

直販部会では、商品づくり講習会や栽培講習会など毎月勉強会を開催しています。

「これであなたも売り上げアップパートII」野菜好きをもっと増やそう！(十二月二十二日)

直販所でもよく販売されているチャータ、里芋等のおいしい食べ方や見分け方、保存方法等を取りまとめ、POPを作りました。

また、昨年から取り組んでいる「谷相カレンダー」(栽培暦)をとりまとめ、老人ホーム等に出荷できる野菜を月別、品目ごとに表にとりまとめました。

「タケノコ加工品づくりと初夢(目標)作成！」

(二月二十八日)

平成二十二年の初夢(出荷目標等)の作成と新たな販売品目として農業振興センターが加工レシピを提案しました。

「先進事例研修を開催！」(三月三日)

南国市の「かざぐるま市」、量販店サンシャイン枝

川店内にある農産物直販所「愛菜市」、いの町吾北の道の駅内の「633美の里」で研修を行いました。

「かざぐるま市」は、店舗見学のみでしたが、「愛菜市」は、水田産直アドバイザーから、POPづくりのコツや売れる商品づくりについてお話がありました。「633美の里」では、消費者ニーズの把握の仕方や目玉商品のつくり方について研修しました。「POPの書き方や並べ方が参考になった」「出荷に対する考え方は、目から鱗が落ちた」等の意見が出され、どの参加者も「出席してよかった」との話がありました。

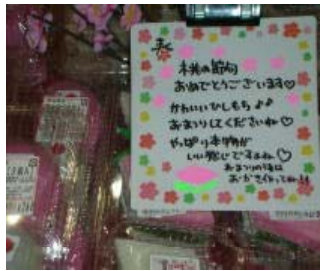
「谷相地区集落営農組合直販部会実証ほにジャガイモを定植！」(三月十二日)

組合の実証ほ場に、ジャガイモの定植を行いました。二月末から種芋を準備していましたが、雨天続きでやっと三aのほ場に「北海黄金」や「キタアカリ」など十種類のジャガイモを植えることができました。

農家からは、「頑張って手入れをせんといかん」、「収穫祭が楽しみ」との意見が聞かれました。



「愛妻市」での研修



「愛妻市」でPOP

「直販所に谷相カレンダーやPOPを提案！」(三月十七日)

直販所「蕪生の里」へ地区運営委員を通じ、「谷相カレンダー」(栽培暦)と「チャータ、里芋、大根」の三品目のPOPを提案を行いました。



ジャガイモ定植



栽培講習会(現地)

【お知らせ】

- 谷相地区集落営農組合総会
6月頃予定
- 谷相オペレーター組合：4月
内容：活動計画の作成等
- 水稲栽培研究会：4月
内容：種子消毒について
- 直販部会：4月予定
内容：活動計画の作成

【集落営農とは】

ひとつの農家では解決できない地域の農業のいろいろな問題を、集落のみんなと知恵と力を出し合って解決し、集落づくりにつなげていくことです。



『谷相地区集落営農組合について』

谷相地区集落営農組合は、「咲かそう・実らそう谷相の夢」をスローガンに集落の維持発展をめざして平成21年2月に設立しました。

谷相オペレーター組合、水稲栽培研究会、アジサイ栽培研究会、直販部会、青ネギもうかる会、交流専門委員会の6つの作業部会ができ、様々な活動を行っています。

地域の皆さんの参加がないと「始まらん」会ですので、今まで参加された方も、途中からの参加はしにくいと思っていらっしゃる方も、皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。

発行：中央東農業振興センター
農業改良普及課

連絡先：香美市土佐山田町加茂 777

TEL：0887-53-3039

FAX：0887-53-5140